

予期せず家計が急変し 全員が「住民税非課税相当」の収入となった世帯の 「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（追加分）」 (家計急変世帯：7万円/1世帯)

住民税非課税相当とは、世帯全員のそれぞれの年収見込額（令和5年1月～申請月の属する前月までの任意の1か月分の収入×12）が住民税非課税相当であることを指します。収入または所得の基準については、申立書(別紙)で確認してください。

- 給付金を受け取るには、**申請が必要**です。
- 申請書及び申立書に必要な事項を記入して、添付書類とともに平塚市福祉総務課給付金窓口へ郵送または直接、ご提出ください。
- 受付から1か月程度で対象世帯に給付金を支給します。

記入例(申請書1ページ)

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加分)(家計急変世帯分)
申請書(請求書)

支給市区町村
平塚市長 宛
平塚市 受付印

2ページ目の【誓約・同意事項】に誓約・同意の上、申請します。

1. 申請・請求者(世帯主)

フリガナ	氏名	性別	生年月日	現住所
ヒラツカ タロウ	平塚 太郎	男	昭和34年12月1日	〒254-8686 平塚市 平塚市浅間町9-1 電話 ××××(××)××××

令和5年7月から9月ごろに実施された住民税非課税世帯等に対する3万円の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(家計急変世帯分)について平塚市に申請し支給を受けましたか。
 はい いいえ

2. 申請者が属する世帯の状況

フリガナ	世帯主との関係	氏名	性別	生年月日	令和5年1月1日時点の住所(現住所と異なる場合に記載)	氏・生年月日等が記載された書類を添付しているか
(世帯主)	本人					<input checked="" type="checkbox"/>
ヒラツカ ハナコ	妻	平塚 花子	女	昭和34年8月1日	〇〇県△△市〇〇町〇-〇	<input checked="" type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>
						<input type="checkbox"/>

3. 振込口座(原則、1.の申請・請求者の口座とします。)
※下欄①のどちらか一方に記載し、口座確認書類を添付してください。

①ゆうちょ銀行以外の金融機関	支店名	口座番号(右詰めでご記入ください)
1.銀行 2.信用金庫 3.信組 4.信連 5.農協 6.漁協	〇〇 本支店 出張所	0 1 2 3 4 5 6
金融機関コード	支店コード	3桁
口座名義(カナ) ※「1.申請・請求者」名義に限る。(通帳の表記に合わせてください。)		
ヒラツカ タロウ		
②ゆうちょ銀行	通帳記号	通帳番号
貯金通帳の宛先またはキャッシュカードに記載された記号・番号をご記入ください。	普通 1 0	1
口座名義(カナ) ※「1.申請・請求者」名義に限る。(通帳の表記に合わせてください。)		

(注)金融機関の口座がない方、金融機関から遠く離れた場所に住んでいる方など、どうしても口座による受け取りが出来ない方は、平塚市福祉総務課(電話0463-71-6632)にお問い合わせください。

世帯主の方を申請者としてください。

現住所と令和5年1月1日時点の住所が異なる方は、令和5年1月1日時点の住所を記入してください。

申請者が同じ世帯の方全員を記入してください。(収入の有無や年齢にかかわらず全員です。)

令和5年1月以降申請日の属する月の前月までに、住民税非課税相当まで家計が急変した世帯主及び世帯員に〇を記入してください。

世帯員が多く書ききれない場合は、申請書及び申立書(別紙)を必要数準備し、残りの世帯員を記入してください。

2ページ目も必ずご確認ください

記入例(申請書2ページ)

①から⑧までの誓約・同意事項を確認の上、✓を記入してください。

【誓約・同意事項】 ※全ての項目を確認し、口にチェック(✓)してください。

以下の全ての誓約・同意事項について確認し、誓約・同意します。

①電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加分)(家計急変世帯分)(以下「給付金(家計急変世帯分)」という。)のすべての支給要件に該当します。
(支給要件) (ア) 令和5年12月1日において平塚市に住民登録があり、申請日時点で引き続き平塚市に住民登録がある世帯です。
(イ) 世帯全員のそれぞれの年収見込額(令和5年1月以降の任意の1か月分の収入×12)が住民税非課税相当です。
(ウ) 全員が、令和5年度住民税が課税されている他の親族等の扶養を受けている世帯ではありません。(住民税における取扱いとして扶養を受けているか分からない場合は、親族等に確認が必要です。)
(エ) 世帯に、租税条約による免除の適用を届け出ている者はいません。

②既に電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加分)または同様の給付金等を受給した世帯に属していた者はいません。受給していた場合には、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加分)を返還します。

③給付金(家計急変世帯分)は、予期せず家計が急変し収入の減少があった世帯に対し支給するものであり、例えば、定年退職による収入の減少、年金が支給されない月や季節性のある事業活動の通常収入が得られない月といった、あらかじめ当該月に収入がないことが明らかであるものを対象月として給付申請した場合などは、予期せず家計が急変し収入が減少したわけではないため、不正行為に該当します。不正受給をした者は詐欺罪に問われ、10年以下の懲役刑に処されることがあります。

④給付金(家計急変世帯分)の支給要件の該当性等を審査するため、前住所地での給付金の受給の有無のほか、平塚市が必要な住民基本台帳情報、税情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。

⑤公簿等で確認できない場合は、関係書類の提出を行います。

⑥この申請書は、平塚市において支給決定をした後は、給付金(家計急変世帯分)の請求書として取り扱います。

⑦平塚市が支給決定した後、申請書(請求書)の不備による振込不能等の事由により支払が完了せず、かつ、令和6年3月19日までに平塚市が申請・請求者に連絡・確認できない場合に、給付金(家計急変世帯分)が支給されないことに同意します。

⑧給付金(家計急変世帯分)の支給後、申請書(請求書)の記載事項について虚偽であることが判明した場合や、給付金(家計急変世帯分)の支給要件に該当しないことが判明した場合には、給付金(家計急変世帯分)を返還します。

「いいえ」の場合
以降も必要事項を記入し、右記に記載のすべての書類を提出してください。
※平塚市以外に申請した場合も「いいえ」です。

「はい」の場合
前回給付金(3万円)の支給を受けた時の世帯と同じ世帯構成ですか。

はい
いいえ
以降も必要事項を記入し、右記に記載のすべての書類を提出してください。

はい
いいえ
前回給付金(3万円)の支給を受けたのと同じ口座ですか。

はい
いいえ
この申請書(請求書)のみ提出してください。他は不要です。
この申請書(請求書)と口座を確認できる書類のコピーを提出してください。他は不要です。

全ての記載内容に間違いがないことを確認の上、確認した日付と申請者氏名を記入してください。

提出書類

『電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(追加分)(家計急変世帯分)申請書(請求書)』(本書)
※必要事項をご記入ください。
※代理申請(請求)をする場合には、委任状の添付が必要になります。

以下の書類は、提出不要となる場合があります。(別紙の記入例を確認してください。)

『申請・請求者本人確認書類のコピー』
※申請・請求者の運転免許証、健康保険証(コピーの「記号」「番号」を黒塗りで消してください)、マイナンバーカード(表面)、年金手帳、介護保険証、パスポート等のコピーを添付してください。
※代理申請(請求)をする場合には、世帯主及び代理者の本人確認書類のコピーの添付が必要になります。

『受取口座を確認できる書類のコピー』
※通帳やキャッシュカードのコピー、口座番号連絡書など、受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できる部分のコピーをご用意ください。

『簡易な収入(所得)見込額の申立書』(別紙)
※必要事項をご記入ください。

『令和5年1月以降の任意の1か月の収入』の状況を確認できる書類のコピー
※申立てを行う収入に係る給与明細書、年金振込通知書等の収入額が分かる書類、帳簿等の事業収入、不動産収入にかかる経費の金額の分かる書類を添付してください。給与や年金を複数の勤務先・支払者から受けている場合は、すべてが必要です。

※【誓約・同意事項】のチェック漏れや、添付書類の不備はありませんか。(チェック漏れや添付書類の不備がある場合、給付を受けられません。)

本申請の内容に相違ありません。
令和 6年 〇月 〇日 申請者氏名 平塚 太郎

申請期間：令和6年1月15日(月)～令和6年5月31日(金)
(当日消印有効)

【記入例1】非課税相当収入限度額以下で申請の場合

申立書1ページ目

1 予期せず家計が急変し収入が減少した場合は✓を記入してください。それ以外の理由で申請した場合、本給付金の対象とはなりません。

2 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方の状況を記入してください。

3 左欄の者が扶養する者の数(①欄)を記入してください。

4 令和5年1月から申請日の属する前月までの任意の1か月(④欄)とその月の収入額(⑤欄)を記入してください。

5 年間収入見込額(⑥欄)を記入してください。年間収入見込額=令和5年1月から申請日の属する前月までの任意の1か月分の収入(⑤欄)×12

6 非課税限度額早見表から、扶養人数に応じて、該当する金額(⑦欄)を記入してください。

7 非課税相当収入限度額(⑦欄)と年間収入見込額(⑥欄)を比較し、⑥欄の方が低い場合は、2ページ目の年間所得の記入は不要です。

別紙 簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

1 下記にチェック(☑)してください。
 私の世帯は、予期せず家計が急変し、住民税非課税世帯となる水準相当に収入が減少しました。

(記入上の注意)
 「予期せず家計が急変」したことは、定年退職による収入の減少や、年金が支給されない月や事業活動に季節性があるもの等の通常収入が得られない月の収入等、当該月に収入がないことがあらかじめ明らかであるものは該当しません。

2 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方について記入してください。

(フリガナ)氏名	左欄の者が扶養する者の数	令和5年度住民税課税状況	障害者控除等の適用	任意の1か月で申し立てる場合、その年月	任意の1か月分の収入⑤			年間収入見込額 D×12	非課税相当収入限度額
					給与収入 [A]	事業収入又は不動産収入 [B]	年金収入 [C]		
ヒラツカ タロウ	1	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年1月	20,000円	0円	0円	1,440,000円	1,560,000円
平塚 太郎	1	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	1月	収入合計額 A+B+C= [D] 120,000円			1,440,000円	1,560,000円
ヒラツカ ハナコ	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年1月	0円	0円	0円	0円	0円
平塚 花子	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	1月	収入合計額 A+B+C= [D]			0円	0円

(早見表)

扶養している親族の状況	非課税相当収入限度額
単身又は扶養親族がない場合	100.0万円 ⑥
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	156.0万円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	205.7万円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	255.7万円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	305.7万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	204.3万円(※)

※204.3万円を超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

【記入例2】非課税相当所得限度額以下で申請の場合

申立書2ページ目

9 収入により申請する場合は記入不要です。

10 年間収入見込額(⑥欄)を記入してください。年間収入見込額=令和5年1月から申請日の属する前月までの任意の1か月分の収入×12

11 各欄に該当する控除額を記入してください。

12 年間所得見込額を記入してください。年間所得見込額=収入額-(⑧給与所得控除額+⑨事業収入等の経費+⑩公的年金等控除)

13 非課税限度額早見表から、扶養人数に応じて、該当する金額を⑬欄に記入してください。

14 ⑪の額が⑫の額を下回れば支給対象となります。

3 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方について記入してください。

(フリガナ)氏名	【収入】年間収入見込額	【控除】			【所得見込】年間所得見込額	【非課税所得限度額】
		給与所得控除額	事業収入等の経費	公的年金等控除		
ヒラツカ タロウ	1,440,000円	0円	700,000円	0円	740,000円	1,560,000円
平塚 太郎	1,440,000円	0円	700,000円	0円	740,000円	1,560,000円
ヒラツカ ハナコ	0円	0円	0円	0円	0円	0円
平塚 花子	0円	0円	0円	0円	0円	0円

4 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方について記入してください。

(フリガナ)氏名	【収入】年間収入見込額	【控除】			【所得見込】年間所得見込額	【非課税所得限度額】
		給与所得控除額	事業収入等の経費	公的年金等控除		
ヒラツカ タロウ	1,680,000円	0円	700,000円	0円	980,000円	1,010,000円
平塚 太郎	1,680,000円	0円	700,000円	0円	980,000円	1,010,000円
ヒラツカ ハナコ	0円	0円	0円	0円	0円	0円
平塚 花子	0円	0円	0円	0円	0円	0円

(早見表)

扶養している親族の状況	非課税相当所得限度額
単身又は扶養親族がない場合	45.0万円 ⑬
配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合	101.0万円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合	136.0万円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合	171.0万円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合	206.0万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合	135.0万円(※)

※135.0万円を超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

予期せず収入が減少した以外の収入減少により給付を申請した場合、不正受給(詐欺罪)に問われる場合があります。

住民税非課税世帯等に対する給付金の「振り込め詐欺」や「個人情報の詐取」にご注意ください！
 自宅や職場などに都道府県・市区町村や国(の職員)などをかたる不審な電話や郵便があった場合は、お住まいの市区町村や最寄りの警察署か警察相談専用電話(#9110)にご連絡ください。



【記入例2】非課税相当所得限度額以下で申請の場合

申立書1ページ目

8 非課税相当収入限度額(⑦欄)と年間収入見込額(⑥欄)を比較して、⑥欄のほうが高いため、所得による申請(右側の申立書2ページ目)を記入してください。

2 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方について記入してください。

(フリガナ)氏名	左欄の者が扶養する者の数	令和5年度住民税課税状況	障害者控除等の適用	任意の1か月で申し立てる場合、その年月	任意の1か月分の収入⑤			年間収入見込額 D×12	非課税相当収入限度額
					給与収入 [A]	事業収入又は不動産収入 [B]	年金収入 [C]		
ヒラツカ タロウ	1	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年2月	0円	140,000円	0円	1,680,000円	1,560,000円
平塚 太郎	1	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	2月	収入合計額 A+B+C= [D] 140,000円			1,680,000円	1,560,000円
ヒラツカ ハナコ	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	令和5年2月	0円	0円	0円	0円	0円
平塚 花子	0	<input type="checkbox"/> 課税 <input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 未申告	<input type="checkbox"/> 障害者控除 <input type="checkbox"/> 寡婦控除 <input type="checkbox"/> ひとり親控除	2月	収入合計額 A+B+C= [D]			0円	0円

お問い合わせ

平塚市価格高騰給付金コールセンター
 受付時間 平日9:00 ~ 17:00

0120-611-691
 (フリーダイヤル)